

この時期、いい天気の日、さらに休みの日を重ねることがなかなか難しくなっていますが、それだけに晴れた日のアウトドア活動には、うれしさ楽しさが増してきます。さて、今月のイベント。天気はどんなものでしょうか？

## イベント案内

### 藤原岳ハイキング

～花の咲き競う鈴鹿の藤原岳を歩いてみましょう！～

日 時：6月26日（土） 午前8時集合  
目的地：藤原岳（滋賀～三重県／1120m）  
集合場所：JR千里丘駅 [JR京都線・大阪駅より普通で約15分]  
（改札を出て左前方の階段を下りた所。喫茶店 CITY の前。）  
参加費：¥4,000-  
持ち物：弁当、水筒、雨具  
コース：聖宝寺道～藤原山荘～藤原岳展望丘～藤原山荘～大貝戸道（約4時間半）  
申込み：参加希望者は6月15日までにご連絡ください。  
その他：雨天中止

### 夏山登山・八ヶ岳

～雄大な山並みと、高山植物を求めて～

日 時：7月16日（金）夜出発～18日（日）  
目的地：南八ヶ岳（長野・山梨県／赤岳～横岳～硫黄岳）  
参加費：¥23,000～28,000-  
申込み：参加希望者は6月26日までにご連絡ください。  
今回の夏山登山・八ヶ岳は、テント山行の予定です。参加される皆様は、シュラフをご用意ください。  
コースについては、美濃戸口より赤岳鉱泉～行者小屋（泊）～赤岳～横岳～硫黄岳～赤岳鉱泉～美濃戸口を予定しております。

さて今後の活動は、8月28日 離島&釣りツアー、以後9月18日、10月2日頃を予定しております。カヌーツアー、登山ほか…ご意見お待ちしております。

### 稲村ヶ岳登山

6月18日（金）夜出発～20日（日）で、稲村ヶ岳（奈良県・大峰山系／1725m）に行きます。歩行時間約7時間半。下山後キャンプ予定。  
参加費：¥10,000 - /参加希望者は6月13日までにご連絡ください。

# イベント報告

(NO. 33)

## 初夏のハイキング

滋賀県・琵琶湖南岸 鶏冠山／491m 5月29日(土)

再挑戦となった、鶏冠山ハイキング(?)は天候にも恵まれ、またPAO始まって以来の大ツアーとなりました。

総勢42名。私も驚くほどの参加者が集まり、貸切バスで千里丘をスタート!

今回、初参加の方がほとんどでしたので、みなさんの自己紹介をしてもらいながらバスは走る。さすがに、これだけいるといろいろな職業、出身地の答え。趣味は「旅行」と言う答えが多かったでしょうか?もう少し、詳しく聞くことができなくてちょっと残念。

渋滞もなく、無事バスは目的地、鶏冠山の登山口に到着。

早速、ゾロゾロと言う感じで歩き始めたのは、11時前。

最初は、舗装路に行く。「う～ん。ずっとこんな道なのかな?」と、思い始めた頃に、ようやく山道らしい道へと入っていく。

すぐに、緑深い中となる。沢沿いの道も涼しげだ。しかし、何度か小川をわたるうちに、ドッと汗が噴出してきた。しばし、休憩。

まだ、そんなに歩いてないが、木々が生い茂り、山深い感じとなってくる。

樹林地帯を抜けると、一転して明るい日差しを浴びるようになる。次に待ちうけるは急斜面。まさしく、よじ登るといった感じになりながらも、もくもくと列は進む。

ここまで来ると、いよいよ「これはハイキングか?」と言った声も聞こえてきた。

汗をフキフキ、息も絶え絶え、口数も減ってきた。休憩を挟みながらも歩を進める。

だいぶん歩いてきたが、ここはどのへんだ?道を尋ねると、すでに鶏冠山は過ぎているとのこと…。「むむ…。今回は周回コースのため、鶏冠山の頂上を目指してきたわけではないが…。腹も減ってきているし、とりあえず次の目的地、天狗岩を目指そう!」と再スタート。

しかし、ここからの道が、また難コース!滑りやすい花崗岩がむき出しの上、急なアップダウンを繰り返しながらも、ようやく眺望が開けてきた。

そこからは、巨大かつ奇妙な大岩がゴロゴロしているのが目につく。どうやってこんなところにこんな大きな岩が…?山が先か岩が先か?とも考えてしまう。

岩場を這い上がり、くさりやロープを伝って、上がって下がって、すべり落ちながら、大きな岩と岩の間をすり抜け、ようやくたどり着いた天狗岩。ここからの眺望はまた格別であり、一息ついた後に飲むぬるいビールでさえも、またうまい!

昼食と休憩の時間をゆっくりと、とれなかったが、下山時間を考えるとスタートせねばならない。ここは、ちょっと残念なところでもあった。

下りにもまだまだ続いた、くさりにロープの急斜面。しかし、もうみんな慣れてしまったのか、あわてる風もなくしっかりと進んでいく。

森林浴も十分にできた頃、沢沿いとなる道まで降りてきた。ここまでくれば、ホッとするのか、疲労感も心地よいものになってくる。充実感もいっぱいだ。

ほぼ予定通りの3時30分には全員が無事帰着。

みなさん、お疲れ様でした。

このあとは、一路千里丘へと戻り、千里の湯で汗を流しての解散となりました。

さて、みなさんいかがでしたでしょうか？今回の鶏冠山登山。(えーっ?)

大人数のツアーとなりましたが、みなさんのご協力と、また節度と良識ある行動のおかげで、順調かつ無事にツアーを終える事ができたことを感謝しております。ありがとうございました。

今回のコースについては、確かにハイキングと言うには多少きつい面もありましたねえ。

しかし、みなさんの思っていた、想像していたよりもきつかった、ハードだったと言うことで良かったのではないかな、と私は思います。

初めて山にこられた方、どんなかな？と軽い気持ちでこられた方には、少々つらいところもあったかとは思いますが、つらかったからこそ、しんどかったからこそ思いも深く、印象に残ったのではないのでしょうか？靴の重要性、バックパックの必要性も感じとっていただけたのではないのでしょうか？

これこそが経験であり、また知識となっていくのだと思います。何事においても、自分の力よりも少しきつい、上のことを経験する事により、自分を高め向上していくのだと、私は思います。

何よりも、これでひとつの事例ができたことは確かです。これで、初心者ではなく、いつでもこの経験と比較して考える事ができるでしょう。

今回のようなハイキングが、心地よいものに感じられるようになったとき、また山が好きになっていくことだと思います。

今回のツアーにおいて、あまりゆっくりする時間がなかった、いろいろな人と話をする事ができなかった、と言う意見をたくさんいただきました。これは、私も感じているところでもあります。ぜひとも、みなさんまたこれにこりず、顔を出してください。アウトドアを通じていろいろな人と知り合えると言うことは、素晴らしい事だと思います。

【栗原隆一 記】

## T e n t   S i t e

鶏冠山ハイキングにご参加いただいた皆様から、いくつか感想をいただきました。ありがとうございます。その中でも、今回、3人組で初参加していただきましたなかの「みどりっぺ(かまだ)」さんの苦しくも楽しい様子が生き生きと伝わってくる感想文を紹介いたします。

~~~~~

今回のハイキングは、私達の想像してたものとは違っていました。

私達の考えてたハイキングとは、緩やかな小道を鼻歌まじりに、時にはスキップできそうなところに行くものだと思ってました。なので、へなちょこスニーカーに普通のカバンで参加しました。あまいですよねぇ？

岩場ではズリズリすべりそうになるし、肩にかけたカバンが邪魔！  
これを機に、靴とバックパックを購入しようと3人で誓いました。

日頃の運動不足のせいか、もう筋肉痛です。

天狗岩までの道のりは険しかったけど、到着した時は「やったー！」って感じでした。天気は良かったし、おなかもペコペコで昼食がうまかった！もちろんビールもうまかった！！

後半の道のりはビールのせいか、はたまた疲れのせいか足取りが重く感じることもありました。

途中、「体力の限界！」と千代の富士のように叫びたくなる事も。。。。

なんとかがんばって、無事バス停まで到着！

千里温泉で汗を流し、極楽気分。。贅沢を言えば、もうちょっと時間が欲しかった。

楽しかったのは、今まで通った事のないような道を行ったこと。

岩場をロープを使って上り下りした時は、「ファイトオ！いっばあーっ！！」ってどこからか、聞こえてきそうでした。

天狗岩から見る景色は素晴らしかったし、川の水もとてもきれいだったし、緑の匂いがなんとも心地よかった！

残念だったのは、みんなとあまりお話できなかった事です。

休憩時に周りの人とお話ただけだから。

次回は、みんなとお話する時間がもっとあればいいなと思います。

仕事や趣味やいろんな事お話したいです。

これから行きたいところは色々ありますが、1番は「しまなみ海道」です。

自転車か歩いて渡りたいですね。

黒部立山アルペンルートもいいなと思うのですが。。。。

したい事は、釣り・カヌー・パラグライダーです。

昨年のGWに四万十川へ行った時、カヌーをしたいなあとと思ってました。

PAO通信を読むと、今年のGWに四万十川でカヌーをされたとの事、羨ましいです。

私達3人の間では、「阿波踊り」もしたいなあと考えてるのですが。。。

これは、アウトドアって感じじゃないですね。

【11 - 112 みどりっぺ (かまだ) 記】

~~~~~

<PAOイベント参加アンケート・回答報告>

鶏冠山ハイキングで、いただきましたアンケートのご意見をいくつか紹介いたします。

【今回のイベントについて】

- ・沢伝いの帰りのハイキングは水が冷たくて気持ち良かった。行きはしんどかった。
- ・参加人数が多かったのには驚いた。ハイキングは比較的歩きやすかった。景色もたいへんよくよかった。
- ・想像していたよりハードで疲れました。でも温泉が気持ち良かったです。
- ・かなりハードなハイキングだったので驚いたが、童心にかえて楽しかった。

- ・ハイキングと言えば散歩的なものかと思っていたのが大間違いで本格的な“登山”に初めは「しまった。」と思ったけど、そのうち疲れが心地よいものになりました。楽しかったです。
- ・私のハイキングの常識がかわってしまいました。もっと体力をつけて参加すれば良かったです。面白かったです。
- ・ハイキングと言うからもっと楽なものかと思っていたのですが、登山に近いものがあった。ほとんど登山だよ。
- ・久しぶりにアウトドアらしいアウトドアをしたって感じですがすがしい気持ちです。

【サークルの雰囲気について】

- ・ほんわかして、居心地いい。
- ・和気あいあいとしながらも、社会人としての節度があり、ベタベタした所がないところが気持ちいいです。
- ・今回は人数が多かったそうですが、本当にアウトドア好きが集まってそうな気がしました。
- ・ついて行くのに一生けんめいで良くわからなかったです。
- ・ふつう

~~~~~

みどりっぺさん、またアンケートにご回答いただきましたみなさんありがとうございます。今回、回答者の名前を掲載する事については、みなさんの了解を得ておりませんので、割愛させていただきます。

みなさんの希望、ご意見は今後の活動の参考にさせていただきます。

## PAO会長・栗原隆一の海外放浪記

### II ネパール編

#### 4 ネパール料理、その味は…

そうこうしながら、あるレストランに入った。レストランというよりも食堂と言った感じの店である。しかし、なかなか人気のある店らしく大勢の客が入っていた。

メニューを見ると、ネパール料理の他にも中華のようなものもありそうだ。もちろん、この国の場所を考えれば、ネパール独特の食べ物もあるだろうが、中華料理やインド料理があってもおかしくはない。

注文は、なかなか愛想のいい少年がとりにきた。少年と言うか子供と言うか、歳は12, 3歳ぐらいだろうか。しかし、立派によく働いている。今回の旅を通じて感じた事だが、小さな子供が実によく働いているのだ。

値段が安いので多めに注文してしまうのだが、1人20ルピーも出せば十分である。

この店は、ガイドブックにも紹介されていて「マンダリン・ティベタン・レストラン」と言う店で、どうやらチベット料理店のようだ。町の中心のダルバール広場に近く、ジョッチェンという通りに入ってすぐの所にある。僕たちの泊まっている宿は、安宿の多いこの通りから少し入ったところにあり、このマンダリンにも近い。

さて、注文した料理が次々と運ばれてきた。意外と言うか、とてもおいしい。味付けもうまく、そんなに辛いと言ったものもない。量もあり、たくさん頼みすぎたかなとも思っ

たが、お腹も空いていたし、うまいのでペロリとたべてしまった。

注文したものは、やきそば、ピザ、餃子、プリンと言ったものであるが、どれも日本で食べているようなものとは、味も形も大きさも違っているの、○○のようなものと言った方がいいかもしれない。しかし、独特の味付けながら「うまい！」と思わせる料理であった。

メシを食った後はチャーである。インドではチャイと言われている、いわゆるミルクティーである。ネパールではチャーと呼ばれ、どこに行っても出てくる。疲れたときなどは、この甘いチャーがなんとも言えずうまいのだ。

腹もいっぱいになり落ち着いた。この少年は気に入った。たいした額ではないが、チップもはずむ。

貧乏旅行ではあるが、ケチケチ旅行ではない。使ってなんぼの金である。買い物時には大いに値切るが、サービスに対しては当然チップを置いていく。これが、僕たちの旅のスタイルなのだ！

この日から僕たちは、うまくて安いこのマンダリンの常連客となったのである。

マンダリンを出ると、ぶらぶらと散歩することにした。これからの、予定もまだ決まっていなかった。

通りを突き当たるとダルバール広場に出る。ここでは週末になると、バザールが開かれており、地面にいろんな物を広げて売っている。ネパールらしいみやげ物のお面や曼荼羅、楽器、置物、装飾品から時計や刀、それから本当にこんなものが売れるのかな、と思わせるような訳のわからないものまでいろんな物が並べられてあり、見ているだけでも楽しくなってくる。それほど商売気がないのか、そんなにひつこくも声をかけてこないの、ついつい見入ってしまう。

のんびりとした居心地のいい、ここカトマンドゥは確かにインドと比べると格段に暮らしやすく、多くの放浪者がここで長期間滞在しているのもわかる。

しかし、ヒマラヤに登るわけでもない僕たちは、ここに3日もいれば飽きてきた。

そろそろ、この旅一番の目的地、ジャングルへと向かうことに決めた。

(次号につづく)

PAOホームページ公開中！！

みなさん、もう見ていただけましたでしょうか？PAOのホームページ！  
より、充実させていくためにも、みなさまの情報・ご意見お待ちしております。  
アドレスは、<http://odcpao.com> です。

PAO通信では、みなさまの原稿を大募集しております。PAO通信・PAOの活動に関するご意見、ご希望また企画や体験談などお寄せください。お待ちしております。

アウトドアサークルPAO 栗原隆一

Eメールでも受付中！アドレスは: [info@odcpao.com](mailto:info@odcpao.com)

99.6.7